

各課所で行われている、県民サービス向上や業務改善に向けた意欲的な取組をレポートします。

## みんなで楽しい昼食を！（ランチミーティング）

常陸太田県税事務所高萩支所

### ここがポイント

- 昼食を各自のデスクではなく、集まって食べることでコミュニケーションを向上

高萩支所では、毎日の昼食を、合同庁舎内の福利厚生室で職員みんなでとることが習慣になっています。

大きなテーブルを囲んでの昼食は、テレビで話題のニュースや美味しいお店の情報、週末に出掛けた先の話など、とりとめのない会話が尽きないそうです。

あくまで強制ではなく、居心地が良いから続いているとのことですが、工作中とは違った一面が見られたり、ちょっとした体調の変化に気づけたりと、コミュニケーションや連帯感の向上に一役買っているそうです。

この例を参考にして、毎日でなくても、グループで会話をしながら昼食をとったり、時にはテーマを設定して「ランチミーティング」をしてみてもはいかがでしょうか。

ちなみに、訪問した高萩合同庁舎は、入居している



笑顔で会話が弾むランチ風景

3部署が協力して庁舎壁面にグリーンカーテンを育てたり、合同懇親会をしたりと部署間コミュニケーションも活発でした。

## 「朝会」でメリハリを付けて1日をスタート

土浦県税事務所稲敷支所

### ここがポイント

- 毎朝8時30分から「朝会」を実施し、メリハリを付けて1日をスタート
- 最新の業務情報を共有するとともに、意見交換で風通しの良い職場環境に



業務開始の切り替えスイッチ！

稲敷支所では、毎朝8時30分から朝会を行っています。

所要3～5分程度の短時間で、次のような流れです。

- ① 「おはようございます」
- ② 週間行事予定表を基に今日の予定の確認
- ③ 連絡事項や意見のある人が発言して意見交換
- ④ 「今日も一日よろしくお願いします」

これにより、なんとなく業務に入るのではなく、メリハリを付けて1日をスタートできるとのことです。

また、最新の業務情報を職員全員が共有できるとともに、自由に意見交換できる雰囲気を作ることで風通しの良い職場環境づくりにつながっているとのこと。

行革分権室  
から一言

職場内のコミュニケーションの活性化は、生き生きと仕事に取り組んだり、困った際に助け合う土台となります。今回ご紹介した事例を見ると、“負担感なく行う”ことが、続けるコツかもしれません。